

一般質問

9月定例会の一般質問は、17日及び18日に行われました。この2日間で、13人の議員が登壇し、市政全般について、15項目にわたり、質問を行いました。

質問項目一覧(通告順)

◆松尾徳晴 議員

- ①管理不全の空き家に対する春日市の対応について
- ②文化財などの管理のありかたについて

◆米丸貴浩 議員

- ①春日市の公共施設における、車イス利用者の利便性について

◆迫 賢二 議員

- ①小中学校の教育行政について

◆中原智昭 議員

- ①小中学校における土曜日の授業のあり方と状況について

◆高橋裕子 議員

- ①これからの行財政改革について

◆榊 朋之 議員

- ①自治会活動について

◆前田俊雄 議員

- ①マスコットキャラクターの活用について

◆近藤幸恵 議員

- ①雨水対策について

◆岩切幹嘉 議員

- ①子育て支援対策について

◆與國 洋 議員

- ①学校教育に関する施策の実態について

◆野口明美 議員

- ①市民サービスの充実について

◆坂本靖男 議員

- ①道路整備について
- ②飼主のいないねこ対策について

◆村山正美 議員

- ①財政運営について

※全文は市議会ホームページの会議録に掲載しています。

管理不全な空き家に対する条例の制定を



まつお 徳晴 議員

問 全国的に管理不全な空き家の増加によって問題が発生している。実態調査は行動を起こす際の基本となるが、調査は行っているのか。

答 現時点では放置されている空き家の調査は実施していない。

問 空き家等の問題について、市民から相談があった場合どの所管で対応するのか。

答 相談は、内容により関係所管で対応していた。より適切な対応が求められるケースが多くなってきたので、まずは「地域づくり課」を総合窓口として、相談内容を把握し、関係所管に周知、的確な対応を心がける。

問 市として、空き家に関し、強制力をもった条例の制定を考えているか。

答 条例化に向けた検討を関係所管で行っているところである。現在、国でも実効性を高める法整備に向けた動きがあるので、その動向を注視しつつ、また、他団体の事例などを踏まえさらに研究していきたい。



奴国の丘歴史資料館展示品

文化財の管理のあり方は

問 本市には貴重な文化財が数多く残っている。破損等は調査しているか。

答 奴国の丘歴史資料館の休館日に、2班に分けパトロールを実施している。

問 奴国の丘歴史資料館の来館者増を考えるとき、課題の認識と対処は。

答 貴重な遺跡や民俗資料を展示している認知度を向上させること。そのため広報の機会の拡大、内容の充実を図っている。他の博物館を参考に研究を重ね、地道に取り組んでいく。

公共施設における、車いす利用者の利便性は



よねまろ たかひろ
米丸 貴浩 議員

問 障がい者の自立と社会参加の促進を考える上で、公共施設における車いす利用者の利便性はどうかあるべきか。

答 「福岡福祉社のまちづくり条例」を基準に、新設に限らず既存の施設においても、車いす利用者の利便性が向上するような福祉施設整備に努めたい。

問 市役所正面玄関右側のスロープは県条例整備基準に合致していない箇所があるが、その改修は。またスロープに代わる昇降機設置の考えはどうか。

答 新たな踊り場設置の調査を行う。昇降装置等の別の移動手段は、安全性等の調査や実情把握に時間を頂きたい。



問 スロープへの誘導表示や庁舎内施設案内表示は、ピクトグラム(絵文字)による効果的な表示を図るべきでは。

答 ピクトグラムによる、庁舎利用者にわかりやすい案内・誘導表示に努める。

問 雨よけに、障がい者用駐車スペースの屋根の前方延長が必要と考えるが。

答 屋根の張り出し長や柱の必要性等の課題検証が必要ではないかと考える。

問 白水大池公園は多目的トイレや洋式トイレの完備・増設が必要と思うが。

答 多目的トイレの完備は各課題を調査研究する。洋式便器の増設は設置比率や利用状況等の調査検討を進める。

問 トイレ設置位置や設置内容がわかる効果的な表示が必要と考えるが。

答 誰もが使いやすい公園となるよう、誘導・案内表示の整備に努めたい。

問 (仮称)総合スポーツセンター新体育館整備における、利用者である障がい者の方々のニーズの反映は。

答 障がい者団体代表と基本設計時から意見交換を行い、声を設計に反映。健康福祉部と連携し、よりよい公共施設となる仕組みづくりを検討したい。

学校の教室にクーラーを



たかし いけだ
迫 賢二 議員

問 気温が毎年上がり続けている現状を把握した上で、今後、教室に扇風機の次の対策として、クーラーの設置を将来的に視野に入れていくのか。また、どのような時期にどのような状態になればこの懸念事業が前進するのか。

答 最近導入したばかりの暑熱対策である扇風機の今後の効果や成果による検討が必要である。また、多様な環境の変化に適応できる「生き抜く力」の育成、健康被害への対応、国における暑熱対策の議論など、総合的な見地から検討する必要があると考えている。

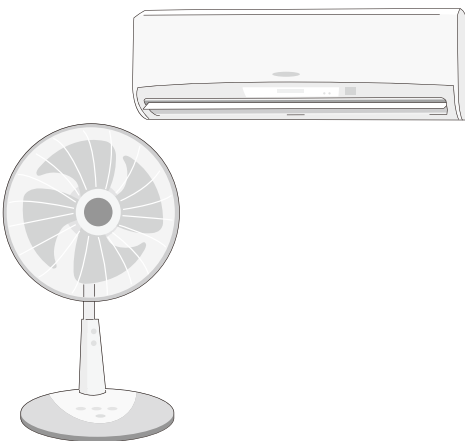
問 教育は古き良き時代の再生を心がけながらも、古き悪しき習慣の是正も必要であると私は常に思っている。臨機応変に柔軟に考える事も大切な事である。国における暑熱対策の議論が早急に行われるよう、現状を把握し、研究、報告して、春日市から全国に発信できたら素晴らしい。子どもたちに対する教育を常に考え、時間を費やし、予算も教育費にかけるべきでないか。

答 議員の活動理念にも全く同感であり、これは一教育問題に限らず市政全

般にもかかって非常に重要な問題でもある。現状を把握した上で、大事な事はお互いをよく理解した上で今の春日市が何をしようとしているのか、市民の皆様にも、どこまで御理解いただいているのか、一緒に考えていく必要があると思う。

問 他の部活動より活動費がかかる吹奏楽部に市からの援助が必要ではないか。

答 現状を踏まえ、今後の整備のあり方について庁内で議論を始めている。



小中学校に土曜日の授業の推進を



なかほら ともあき
中原 智昭 議員

昨年3月、福岡県教育委員会が、土曜日に正規授業を実施できる指針を、市町村教育委員会に通知しているが、1年半が過ぎた今日でも、積極的に実施している学校が少ないように感じる。

問 福岡県教育委員会が通知した、土曜日授業を実施できる指針の内容は、

答 授業を保護者・地域に公開し、月2回程度を上限、原則半日、代休は必要なしとしている。

問 昨今の、子ども達の学力低下や体力低下について、土曜日の授業を実施することで、改善できるのでは。



答 現在でも、新学習指導要領での授業時数確保はできており、学力や体力の低下の意味での実施は考えていない。しかし、土曜日の授業は開かれた学校づくりの推進につながり社会全体で子どもを育てる事を理念として挙げている。根本的には国において、学校週5日制の制度を見直す事も必要ではないかと考えている。

問 教育委員会として、土曜日授業の、春日市モデルをいち早く研究し、構築、実現すべきでは。

答 基本的には学校の主体的判断を尊重したい。現在文部科学省において実施に関し、制度化と設置者の判断の両面から検討されており、今後の動向を見ながら対応したい。

要旨 子どもたちは、遊びの中で成長し、土曜・日曜日のまとまった時間よりも、毎日のゆとりの時間の方が必要だと感じている。PTAや地域・社会教育団体とも協力して、子どもたちの未来のため、新たな教育のステージに上げられるよう前進することを期待する。

財政の見える化・見せる化・見ていただく化を



たかはし ゆうこ
高橋 裕子 議員

問 これからの本市の財政見通しは。

答 将来を見据えた財政運営に努めながら健全な財政運営を行っている。

問 有形固定資産台帳の整備は。

答 台帳整備している。

問 固定資産の管理情報をデジタル化し、地理情報システムを用いて維持管理を進めることが必要なのは。

答 必要性は認識している。他団体の取り組み状況等の情報を収集し、有効性を協議し、調査研究する。

問 施設の更新や活用について、毎年それぞれの所管で検討されていると思うが、優先順位を明確にし、長期にわたる市の戦略を立てるため、市有資産を一元管理する専門部署を置き、効率的な資産運用をする事が必要と思うが。

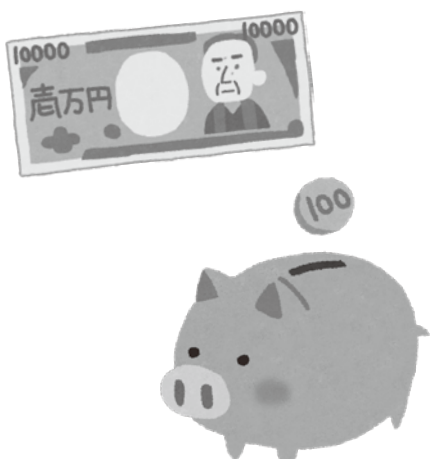
答 現在、公共施設の更新に計画的に対応するための体制について検討を行っている。

問 財政の見える化のため、施策の一部の受益と負担を開示し、コスト感覚を市民と共有することが必要ではないか。

答 公共の役割から離れないよう注意して行政サービスの財源の賄われ方、受益者の負担額は適切か等、意識してもらうことは重要と考え情報開示していく。

問 さらなる財政の見える化・見せる化のために現金主義・単式簿記を改め、発生主義・複式簿記による会計データの蓄積が必要と思うが考えを伺う。

答 会計システムの入替え等、課題も多く今後の国の動向も注視し検討する。財務内容の見える、見せる努力は今後も続けていく。



自治会活動へ全員参加で地域力の向上を



榊 朋之 議員

問 現在、33か国から約440名もいらっしやる本市にお住まいの中長期在留者の方々への、行政からの自治会参加のご案内はなされているか。

答 自治会加入促進のための戸別訪問や支援を行っている。

問 今以上に加入の重要性や必要性を知らせる必要があるのではないか。

答 本市に来てよかつたと思ってもらえる地域づくりは必要である。国際交流団体等を通じて意見を拝聴しながら研究を進めたい。



問 参加を勧める以上、自治会にも受け入れのための準備が必要となるが。

答 自治会活動の実態等も踏まえ、自治会長等とも協議しながら、有効な情報提供を研究していきたい。

問 障がいのある方の自治会参加に関して、ハード面の整備は随分と進んできたように感じるが、例えば防災訓練等にもっと積極的に参加をしていただく事も大切ではないか。

答 非常に重要であると考えている。障がい者の方々や関係団体の御意見も伺いながら、訓練内容を検討し自治会及び自主防災組織に提案していきたい。

問 法律の改正により災害時要援護者リストを作成することになったが、未だ開示を拒否される方もいらっしやる。そういった風土を作った我々は真摯に反省すべきだが、やはり丁寧に趣旨をご説明し、開示へ向けての努力を続けるべきだと思つた。

答 デリケートな問題でもあり個別の支援体制のある方もいらっしやる。御意見をお伺いしながら進めていきたい。

「かすがくん」と「あすかちゃん」の活躍に期待



前田 俊雄 議員

市報かすがが、3月15日号に「春日市青少年育成市民会議のマスケットキャラクター、かすがくん」とあすかちゃんが春日市に寄贈との記事が掲載された。全国の自治体が「ゆるキャラ」を活用してのまちづくりをすすめている今日、かすがくんにあすかちゃんも本市の公式キャラクターになったことは大きな意義があると考えている。

問 今回の寄贈は、図柄(デザイン)の著作権が本市に寄贈されたものと認識しているがそれに相違ないか。

答 その認識に相違ない。

問 デザインは、どういった手続きで、どういった形で受け取られ、保管されているのか。

答 本市の寄附採納事務取扱基準に基づき寄附を受けている。デザインは紙ベースで受け取り、社会教育課において原本として保管し、あわせて、それをスキャナで読み込み電子データとして基幹系パソコンに保存している。

問 今後どのように活用していくのか。教育委員会の分野だけが、全庁的か。

答 現在は、社会教育課内部にて活用の方を整理している。今後は全庁的な活用という形になると考えているが、これから検討をはじめていく。

問 マスケットキャラクターは市のシンボルであり、他市の事例を見ても、今後の全庁的な活用を考えると所管課は総務部門であるべきではないか。

答 今後の検討の中で、明確にしたい。要望しつかり全庁的に検討をし、大いに活用していただきたい。

春日市PR大使



あすかちゃん



かすがくん

フォレストシティを縦断する道路の雨水対策は大丈夫か



近藤 幸恵 議員

本市の上流に位置するフォレストシティはほぼ完成に近いが、未だに雨が降ると、車歩道に土砂が流れ込み、交通の妨げとなっている状況である。

問 フォレストシティ帯の雨水の流れを尋ねる。

答 宅地や大型店舗が進出している開発区域は長添調整池へ流入し、御笠川へ。開発区域外は(仮称)新中原大池、中原池及び中原新池を経て、那珂川へ。



問 新中原大池は未完成であるが、異常気象時の集中豪雨等に十分対応でき、市民の安心・安全の確保が必要だが。

答 早期完成は切に願っているところであり、引き続き関係各所と協議の上、関係者の方に対し早期完成をお願いしていく。

問 東浦西浦地区からの表面水により土砂が市道に流れ込む状況であるが、見解と現在の対策は。

答 雨が降るたびに土砂が流れ込む状況は道路管理上課題だと考える。また、降雨時、降雨後状況確認し、状況に応じて道路清掃を行い交通安全の確保を図っている。今年度は2回の清掃を行った。

問 雨が降るたびに対応することはフルコスト計算すると事業費が高くなるので、何らかの対策が必要と考えるが。

答 事業者に対し必要な対策や措置を講じるように要請していく。

要望 常に行政の管理責任が問われないように西浦、東浦の関係者にも協力を得ながら、対策を十分に図り、市民の安心・安全の道路の確立を要望する。

子ども・子育て支援制度に向けて本市の方向性は



岩切 幹嘉 議員

問 子どもは社会の希望、未来をつくる力である。その環境を構築していくことは、最重要課題であることから子育て世帯が、どのような支援を望んでいるのか、多岐にわたるニーズを的確につかむ取り組みについて。

答 就学前児童、小学校の保護者それぞれ2千人を対象にアンケートを実施し、さらに、保育関係施設などの調査も行う。

問 27年度からスタートする新支援事業で支援していくための運営基準は条例に定める必要があるがスケジュール的に大丈夫なのか。また、待機児童解消のために、特に、ゼロ歳児から3歳未満児の保育施設について、本市はどういう認可基準を設定するのか、統一的か複数の基準にするのか。

答 大変に厳しいスケジュールではあるが、この地域型保育事業について、認可と確認は、市町村の権限と責任で行うことになっている。現在国においても、分園型、家庭的保育型及び中間型と、この3種類を念頭に置いて、検討が行われている。



問 保育所、幼稚園の入所相談、また入所できなかった世帯についてのフォロワーの情報提供のためにいつでも、気楽に相談できる専用相談窓口が必要と思うが、どうか。

答 幅広い関連施設や機関が、相談窓口として機能しており、まずは複数の窓口の利点を生かし、スタッフ相談機能を強化するという対応を考えている。

学校教育における各施策の実態は



與國 洋 議員

問 不登校児童・生徒数の推移は。

	22年度	23年度	24年度
小学校	40人 (0.53)	24人 (0.32)	39人 (0.53)
中学校	154人 (4.02)	167人 (4.34)	144人 (3.73)

注：()は在校生に占める不登校者の割合(%)

問 不登校の要因に変化があるのか。

答 いじめ以外の友人関係をめぐる問題が増加してきている。また、保護者の不安定な



心理状態や養育姿勢等が不登校状態の改善が進まない要因の一つになっているのではないかとこの報告を受けている。

問 不登校の要因を受けての措置は。

答 カウンセリング、相談活動や不登校専任教員による家庭訪問、学校における面談等を通じ、保護者の心理状態や生活環境の改善を支援している。今後とも保護者の抱える課題に向き合い、きめ細かな個別相談活動を積み上げていく。

問 市全体としての学力テストの現況、特色は。

答 この6年間、全国平均を100とした場合、各教科ともほぼ100〜114で推移しており基礎基本問題、活用問題ともに全国比より高く概ね良好な状況にある。また学力の二極化の傾向が見られる。

問 学力の二極化を改善する支援は。

答 指導法の工夫、教材の整備、学力向上支援員の配置による補充指導や個別支援などを実施している。引き続きこれらの取り組みをしつかり充実させていく。

市民図書館に雑誌スポンサー制度の導入を



野口 明美 議員

問 雑誌スポンサー制度とは、図書館の雑誌購入代金を雑誌スポンサーに負担していただき、購入した雑誌をコーナーに配架するもの。経費削減とサービソ向上の両立のため、本市もこの制度を通して、社会貢献活動を行う市内の活力を、一段と喚起するとともに地域に根差した図書館運営を推進してはどうか。

答 有効な制度であると思う。引き続き検討する。

問 今年度、実施予定の市民駐車場貸付事業の目的、概要、市民への周知方法と時期については。

答 目的は、私有財産の適正利用、有効活用の観点から、庁舎利用者以外の不正駐車を排除するもの。概要は、来庁者の駐車場利用を妨げないことを条件として、市民駐車場を駐車場事業者へ貸し付け、事業者は駐車場運営による駐車料金を収益するかわりに、駐車場整備や運営管理を行い、市に賃借料を支払う。今後、事業者を決定し、利用条件等が決まり次第、運用開始前に市報かすがウェブサイトで周知する。



問 地区公民館の集会室が2階にあるため、エレベーター等のない施設では高齢者や障がい者が大変不便である。この点について見解と対策は。

答 24年度から大規模改修を行っている。現在、35館のうち18館が2階部分に集会室があり、大変迷惑をかけていることは十分承知している。市営住宅の建てかえなど緊急課題事業で厳しい財政事情もあり、現在、エレベーターを設置するまでには至っていない。

春日中央通り歩道の自転車通行及び交差点整備について



坂本 靖男 議員

問春日中央通りの大土居交差点から上白水池の交差点間だけが、歩道が同じ状況でありながら、自転車通行ができないのは矛盾がある。警察署に早急に働きかけをすべきと考えるが。

答自転車通行可となるよう早急に働きかけたい。

問春日市全体の歩道の自転車通行について現状把握をし、歩行者の安全確保など措置を講じるべきと考えるが。

答歩道幅員3.0メートル以上で自転車通行可の規制がないのは、市県道、合計11.2キロメートル、歩道の自転車通行可とするネットワーク化を図るよう、警察署と協議を進めて参りたい。



問紅葉ヶ丘1丁目交差点は総合スポーツセンター開館後、渋滞の可能性がある。右折レーン設置等、交差点の整備を早いうちに検討すべきと考えるが。

答交通状況の想定は難しい。交差点の交通状況を把握しながら、改良の必要性を検討したい。

問白水大池公園西交差点の渋滞緩和のため、右折レーン延長など、早めの交差点改良の検討が必要ではないか。

答渋滞状況等を再度確認し、効果的な渋滞緩和対策を検討したい。

問県道31号線、岡本交差点に渋滞緩和のための右折矢印信号機、設置の考えは。

答警察署・県からは、リバーシブルレーンのため設置できないと回答。

飼いまいのない対策について

問不妊去勢手術補助金制度の周知と合わせ、制度の目的を市民に周知、理解をしていただくことが大切と考えるが。

答この目的が糞尿等の近隣被害等を未然に防止、動物に対する愛護意識を高めることから、啓発に努めて参りたい。

現在居住の市民のために財政を活かせ



村山 正美 議員

問24年度的一般会計決算での25年度への繰越金は、2億円増加し9億円になっている。この繰越金が将来の財政運営のため基金(預金)に溜め込まれている。その年の収入はその年に居住している市民に要求実現での還元比重を移すべきだ。

答学校整備、保育所建て替え、地区公民館大規模改修など市民サービスの拡充を図る中で、基金の積み立ても行っている。

問市債現在高429億円のうち247億円が交付税算入額である。市費単独での返済額は、標準財政規模とほぼ同額で、市債償還の必要財源が小さくなっている。将来の財政より市民生活向上のために比重を移せる客観的根拠が生まれている。

答財政運営は、今の市民の事を考えるのが当然と思いき今年も新たな事業を起している。大きな事業が目の前に迫っており、今こういっつ方策(基金の積み増し)をとらせていただいている。

要望春日市は、よくみんなのために頑張っているねと、市民が納得する行政に取り組んでいただきたい。

